

Clinical Cloud by MEDIPAL には各領域を牽引するオピニオンリーダーによる良質な医療情報を掲載しています。

Clinical Cloud

かわらばん

最新動画
情報

登録無料



第41号

令和4年8月1日

発行元 株式会社Doctorbook | 東京都千代田区内神田一丁目14番10号

vol. 041

POINT 1

夏の災害、熱中症の重症化とその内訳

POINT 2

一般市民が取り組むべき応急処置とは

POINT 3

熱中症発症の可能性が高まる3条件



熱中症

夏本番 最新の熱中症診療と治療方針

Part1 11:06
Part2 14:57

熱中症診療ガイドライン作成委員長が解説
熱中症の診断と治療

近年の異常気象の影響を受け、各種メディアでも報じられているように、熱中症による救急搬送および外来受診者数は増加傾向にあり、2018年の史上最暑の夏には、過去最多の約60万人に上りました。

ただ、本邦においては、特有の環境風土の影響から、重症者の割合は地域によって異なる傾向があります。

熱中症診療ガイドライン作成委員長を務められた三宅先生に、最新の熱中症の診断と治療について、

1 熱中症の現状 2 応急処置で知る熱中症の重症度 3 2つの熱中症 4 熱中症の予防HEAT5 熱中症の治療FIREの5項目に分け、各種データを用いながら解説いただきます。

また、一般市民が把握すべき応急処置や予防方法、集中治療室における最新の冷却法の紹介、熱中症を引き起こす各種条件や運動時熱中症発生時の相対湿度と気温の関係などを、統計を用いて言及していただきました。



帝京大学医学部附属病院
救命救急センター
センター長・教授

三宅 康史 先生

- 専門分野
救急医学、集中治療医学、脳神経外科、外傷学、災害医学
医学教育
- 所属学会
日本救急医学学会専門医・指導医・評議員、日本集中治療医学会専門医・評議員、日本脳神経外科学会専門医・評議員、日本臨床救急医学会評議員、日本脳神経外科救急学会評議員、日本外傷学会専門医・評議員 他多数



POINT 1

2022年4月から
不妊治療が保険適用

POINT 2

高度先進医療と保険診療の
組み合わせで自己負担を軽減

POINT 3

保険適用以降、不妊治療の
新規患者数は増加傾向



ART

不妊治療の実際 保険適用でこう変わる

Part1 14:10
Part2 12:15

生殖補助医療の治療戦略

不妊治療では、まず不妊の原因を把握する検査を行った上で、それに対する治療を行います。治療は、一般不妊治療であるタイミング法や人工受精と、生殖補助医療に分けられます。生殖補助医療とは、体外受精や顕微授精、凍結融解胚移植をまとめた概念になります。

2022年4月から不妊治療が保険適用となり、排卵誘発から採卵、体外受精、培養、胚移植もしくは胚凍結までを含む治療が保険収載されました。その他、追加的に実施される治療がいくつかありますが、これらはガイドラインの推奨度ごとに、保険適用もしくは高度先進医療、自費診療の対象となっています。高度先進医療は保険適用の部分と適宜併用することができるようになります。

また、全国的に治療周期数は、2016年以降頭打ちで、生殖補助医療による出生児数も同様になります。保険適用によってこれらの値がどのように変化するか、今後の動きを見守る必要があると解説いただきました。



横浜市立大学附属
市民総合医療センター
生殖医療センター
担当部長・准教授

村瀬 真理子 先生

- 専門分野
不妊症、生殖補助医療、がん、
生殖
- 所属学会
日本産科婦人科学会専門医・
指導医、日本生殖医学会 代議員・
生殖医療専門医



片頭痛

医師会員限定動画

片頭痛疾患啓発活動への取り組み

8:34



注目動画1

- POINT 1 片頭痛は発作間欠期であっても日常生活に支障が生じる
- POINT 2 片頭痛の診断基準を満たす、あるいは診断された患者であっても片頭痛又は重度の頭痛のために医療機関を受診したことがある方は57.4%に過ぎない
- POINT 3 片頭痛患者さんが日常生活において、どのような悩みを抱えているのかをご覧いただける動画

片頭痛患者さんは発作時だけに苦しみを抱えているのではなく、発作間欠期においても日常生活に支障を抱えている。それに関わらず日本人の片頭痛患者さんを対象とした疫学調査の結果、片頭痛又は重度の頭痛のために医療機関を受診したことがある方は少ない。そんな片頭痛の「あたりまえ」を変えていこうという思いで第一三共株式会社と、日本イーライリリー社は片頭痛疾患啓発活動に取り組んでいる。

動画内では片頭痛患者さんの日常生活を再現した動画、「片頭痛とともにある私の日常」を視聴いただける。片頭痛患者さんの思いに触れるため、是非ご視聴いただければ幸いです。

提供：第一三共株式会社

妊娠高血圧症候群

妊娠高血圧症候群の治療指針 - 妊娠高血圧腎症を中心に -

Part1 10:55
Part2 10:30
Part2 11:35

- POINT 1 妊娠高血圧症候群の名称・定義・分類
- POINT 2 降圧剤使用に対する大きな誤解
- POINT 3 妊娠高血圧腎症の発症予知に関わる2つの因子



妊娠高血圧症候群は学説の疾患と呼ばれ、その病因・病態は永らく不明でした。しかし、最近の知見により、妊娠初期（10～18週頃）に起こる胎盤低形成に起因する早発型妊娠高血圧腎症と、高年齢妊娠、肥満などに起因し胎盤の老化に伴って発症する遅発型妊娠高血圧腎症に大別できることがわかってきました。日常診療上の注意点から妊娠高血圧腎症と肥満の関係性、他疾患発病のリスクなどの最新知見に至るまでご解説いただきました。



富山大学 学長 齋藤 滋 先生 ●専門分野：産婦人科学



注目動画2

がん検診

コロナ禍の“受診控え”に対する懸念 肺がん検診とコロナ禍

Part1 10:38
Part2 11:05

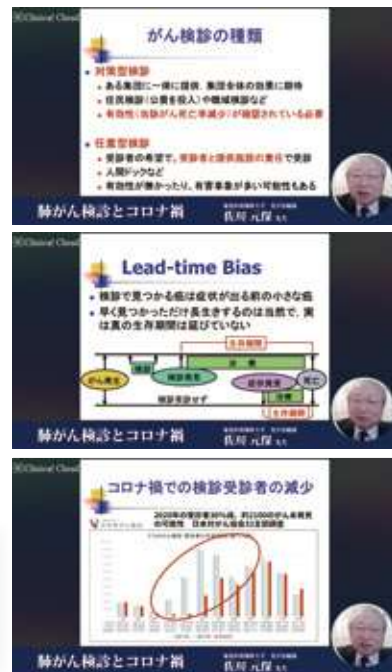


- POINT 1 正しく理解する検診と死亡率
- POINT 2 がん検診受診率減少による未発見がんへの懸念
- POINT 3 コロナ禍の対策型がん検診の必要性

新型コロナウイルス感染症の影響により、がん検診の受診率が30%減少した2020年。減少した受診者数に2018年度の各がん発見率を掛けて推計すると、約2,100のがんが未発見となっている可能性が示唆されています。そこで本コンテンツでは、コロナ禍における肺がん検診の現状について、東北医科薬科大学の佐川先生に伺いました。検診の種類や有効性評価など詳しくお話しいただきましたのでぜひご視聴ください。



東北医科薬科大学 光学診療部 教授 佐川 元保 先生 ●専門分野：肺癌の診断・治療、がん検診など



注目動画3